学校番号	122

平成31年度　　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	明解　世界史Ａ（帝国書院）						
副教材等	ダイアローグ世界史図表（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒が主体的に学習することにより、知識の習得はもちろん、思考力・表現力や世界史に対する興味関心をもつような授業を展開していきたい。教員による講義だけでなく、ペア・グループ活動、レポート、発表などを行い、定期考査と合わせて総合的に評価する。

２　学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ，現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	世界の形成の歴史的過程を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	世界の形成の歴史的過程についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業態度 ワークシート ふり返りシート	定期考査 ワークシート レポート、発表	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	前近代の諸文明	・人類の始まり ・東アジアの文明 ・南アジアの文明 ・東南アジアの文明 ・西アジア・北アフリカの文明 ・ヨーロッパの文明 ・南北アメリカの文明 ・ユーラシアの交流圏	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:各地域に形成された諸文明の特質について、意欲的に追及しようとしている。 b:諸文明の特質を捉え、地域世界相互の文化変容などと関連づけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的な知識が身についている。	定期考査 ワークシート ふり返りシート レポート 発表
	一体化に向かう世界	・繁栄するアジア ・大航海時代と新たな国家の形成	○	○	○	○ ○	a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革の動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された時代の諸地域の特質を見出し、世界商業の進展などに関連づけて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的な知識が身についている。	定期考査 ワークシート ふり返りシート レポート 発表

2	欧米の工業化とアジア諸国の動揺	・ヨーロッパとアメリカの諸革命 ・自由主義・ナショナリズムの進展 ・アジア諸国の動揺 ・東アジアの大変動	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:18世紀以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b18世紀以降の諸地域世界の変貌の特質を見出し、19世紀の世界の一体化と関連づけて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的な知識が身についている。	定期考査 ワークシート ふり返りシート レポート 発表
	現代社会の芽生えと世界大戦	・現在につながる社会の形成 ・第一次世界大戦がもたらしたもの ・”民族自決”を求めて ・経済危機から第二次世界大戦へ	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:19世紀末から20世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、2つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:19世紀末から20世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、2つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的な知識が身についている。	定期考査 ワークシート ふり返りシート レポート 発表
3	冷戦から地球社会へ	・冷たい戦争の時代 ・冷戦終結への道なり ・地球社会への歩み ・持続可能な社会をめざして	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連づけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的な知識が身についている。	定期考査 ワークシート ふり返りシート レポート 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。